

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第51週
(12月15日～12月21日)

- * 2014年12月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「HIV感染症 最近の動向」も掲載しています。

平成26(2014)年12月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	62	86	81	57	3,892	320	25,283
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ					3	1	5
	細菌性赤痢	2	1	1		40	5	154
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	362	33	4,110
	腸チフス					27		53
	パラチフス		1			8		16
四類	E型肝炎		1	1	1	26	5	143
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		2	1	37	4	429
	エキノコックス症							18
	黄熱							
	オウム病					3		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}							60
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					4	2	14
	つつが虫病	4		1		18	14	302
	デング熱					161	1	336
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱							237	
日本脳炎							2	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					4		10
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア					27	1	60
	野兔病							1
	ライム病					2		17
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1			1	102	25	1,201
	レプトスピラ症					5		47
ロッキー山紅斑熱								
2014/12/24集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より新たに追加指定された。

*3 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 57件 肺結核 31件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 14件、疑似症 5件、年齢は5歳未満 1件、10代 3件、20代 4件、30代 7件、40代 8件、50代 5件、60代 8件、70代 4件、80代 11件、90歳以上 6件、推定感染地は国内 54件、ネパール 2件、カンボディア 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 2件 無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、血清型不明 VT1・VT2 1件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は不明 2件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

A型肝炎 1件 患者、年齢は40代、推定感染地はボツワナ、推定感染経路は経口感染、ワクチン接種歴無しであった。

レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	5	7	5	3	223	16	1,087
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1	2		46	1	217
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *3		7	1	5	50	8	281
	急性脳炎 *1	2		2	3	51	5	449
	クリプトスポリジウム症	1				82		98
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		17	3	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		41	2	266
	後天性免疫不全症候群	8	8	14	7	498	22	1,487
	ジアルジア症				2	15	3	67
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2				1	22	3	190
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2	1				9		37
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	4	6	8	3	220	18	1,714
	水痘(入院例に限る) *3	2			1	10	3	129
	先天性風しん症候群					3		9
	梅毒	5	7	16	11	488	17	1,603
	播種性クリプトコックス症 *3		1	1		4	3	30
	破傷風					10		122
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				4	2	52
	風しん		2		1	98	1	319
麻しん				1	93	1	462	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *3					2		14	

2014/12/24集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 病型は腸管 3件、年齢は30代 1件、60代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、不明 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件 患者 5件、病原菌は、エンテロバクター・クロアカ 3件、大腸菌 1件、検査中 1件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、40代 1件、60代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は以前からの保菌 2件、医療器具関連感染 2件(人工呼吸器 1件、留置ドレーン 1件)、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は無し 4件、不明 1件であった。

急性脳炎 3件 病原体はヒトヘルペスウイルス6型 1件、インフルエンザウイルスA型 1件、インフルエンザウイルスB型 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、60代 1件、推定感染地は国内 3件であった。

後天性免疫不全症候群 7件 AIDS 3件、無症候キャリア 3件、その他 1件、AIDS患者の年齢は20代 2件、30代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 6件、シンガポール 1件、推定感染経路は性的接触 6件(同性間 3件、異性間 3件)、不明 1件であった。

ジアルジア症 2件 年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 1件、ラオス 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 3件 血清型は検査未実施 3件、年齢は60代 1件、70代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は不明 3件であった。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染、水痘ワクチン接種歴は不明であった。

梅毒 11件 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 3件、無症候梅毒 6件、年齢は10代 2件、20代 3件、30代 3件、40代 1件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 11件、推定感染経路は性的接触 10件(同性間 1件、異性間 7件、性別不明 2件)、不明 1件であった。

風しん 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種済みであった。

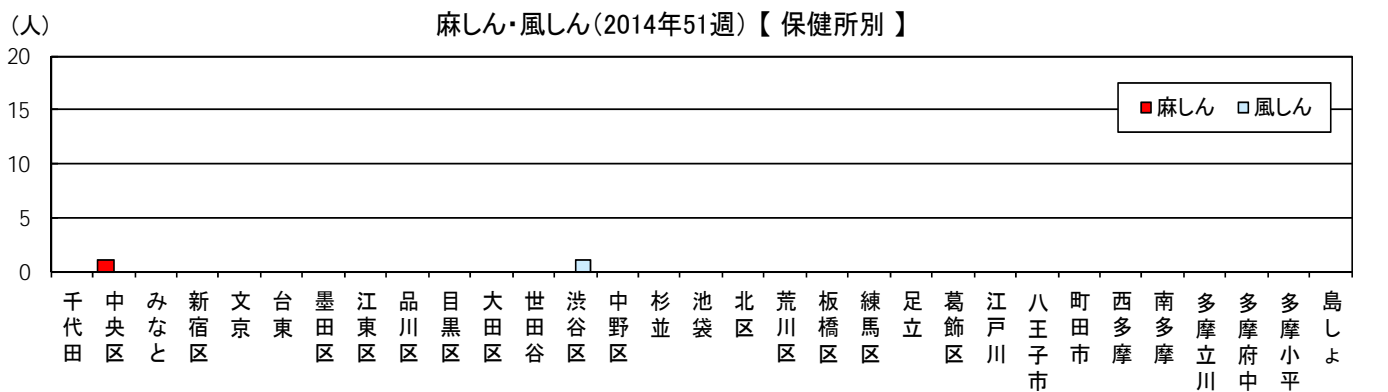
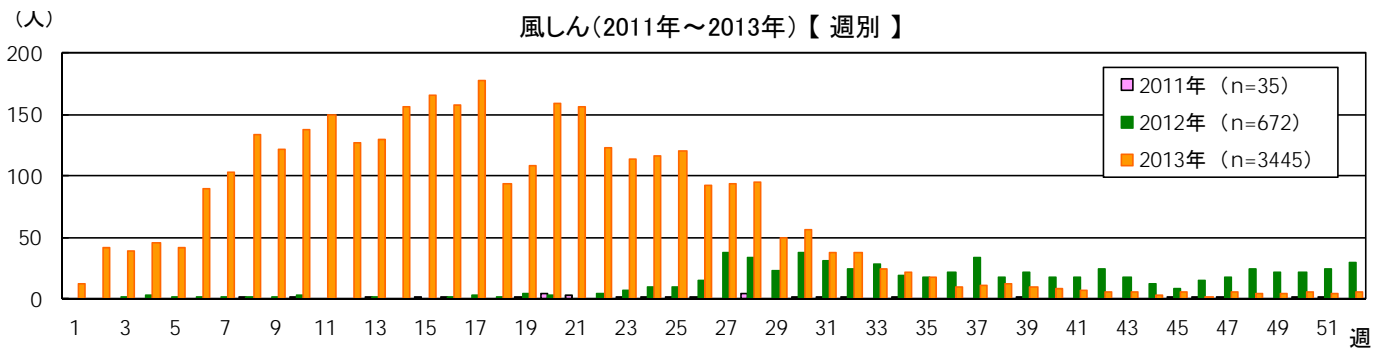
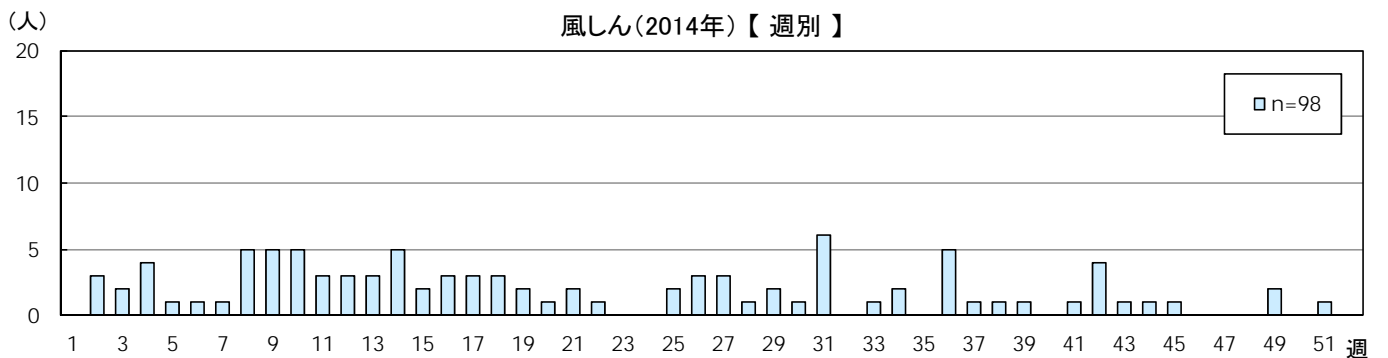
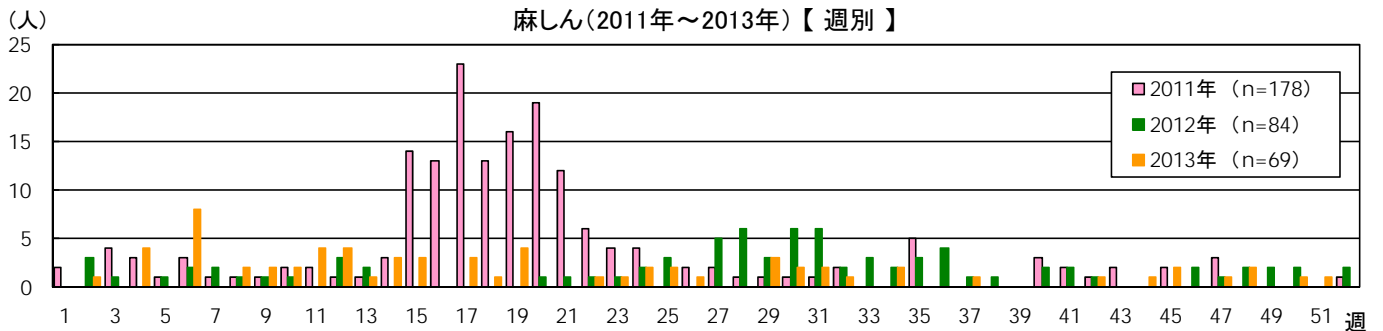
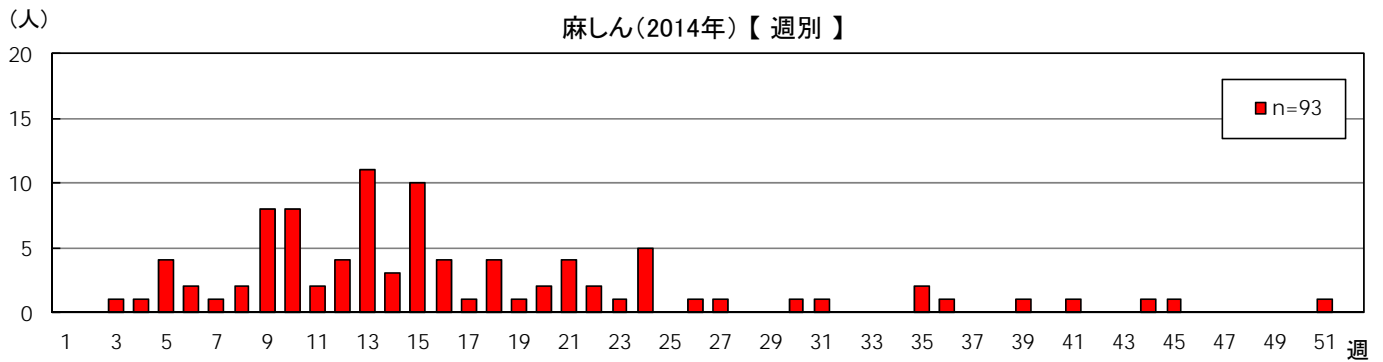
麻しん 1件 検査診断例(遺伝子型D8)、年齢は20代、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染、麻しん含有ワクチン接種歴無しであった。

※ 第45週該当分として〔五類〕麻しん 1件(検査診断例、遺伝子検査未実施、10代、麻しん含有ワクチン接種歴なし)の追加報告があった。

※ 第49週該当分として〔五類〕風しん 1件(臨床診断例、30代、風しん含有ワクチン接種歴不明)の追加報告があった。

※ 第50週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件(50代、肺炎球菌ワクチン接種歴なし)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年51週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		48週	49週	50週	51週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	340	415	472	428	1.63	263	264
	咽頭結膜熱	113	135	140	159	0.60		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	786	844	745	852	3.24		
	感染性胃腸炎	2,308	3,064	3,281	3,500	13.31		
	水痘	249	233	322	258	0.98		
	手足口病	99	101	114	99	0.38		
	伝染性紅斑	176	204	230	238	0.90		
	突発性発しん	141	140	121	132	0.50		
	百日咳	1	4	1	6	0.02		
	ヘルパンギーナ	22	20	9	11	0.04		
	流行性耳下腺炎	73	61	66	61	0.23		
	川崎病 ^{*1}	5	3	7	6	0.02		
	不明発しん症 ^{*1}	15	10	18	19	0.07		
インフルエンザ	インフルエンザ ^{*2}	1,497	2,420	4,192	8,570	20.60	416	419
眼科	急性出血性結膜炎			1			38	39
	流行性角結膜炎	14	21	22	18	0.47		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}	1			1	0.04	24	25
	無菌性髄膜炎		3	1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	10	12	4	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}	1	1		1	0.04		
	インフルエンザ入院	9	11	9	40	1.67		

2014/12/24集計

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 *2 鳥インフルエンザを除く。
 *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、全国同様過去5年平均より高い値での推移が続いている。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、全国値を大きく超え続けている。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、**流行注意基準である10.0を超え、さらに増加している。**

(定点医療機関からのコメント)

みなと

- ・感染性胃腸炎23名中、ノロウイルス陽性2名、ロタウイルス陽性1名

墨田区

- ・ノロウイルス感染症1名

世田谷

- ・アデノウイルス感染症1名
- ・アデノウイルス感染症3名
- ・ロタウイルス感染症1名
- ・マイコプラズマ感染症3名

中野区

- ・インフルエンザの1名は伝染性紅斑様の発疹あり。

池袋

- ・ノロウイルス感染症が1保育園で流行中。

荒川区

- ・ノロウイルス感染症5名
- ・病原性大腸菌 O1、O6、O25、O111 各1名

足立

- ・マイコプラズマ感染症1名
- ・アデノウイルス胃腸炎1名

葛飾区

- ・マイコプラズマ肺炎2名

八王子市

- ・感染性胃腸炎(ノロウイルス陽性)1名
- ・流行性角結膜炎1名
- ・アデノウイルス咽頭炎2名

多摩府中

- ・アデノウイルス陽性2名(結膜症状なし)
- ・感染性胃腸炎4名
- ・アデノウイルス感染症1名

多摩小平

- ・マイコプラズマ肺炎1名、病原性大腸菌3名、アデノウイルス腸炎1名、ノロウイルス腸炎2名

千代田、みなと、新宿区、文京、台東、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷、中野区、杉並、池袋、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立、葛飾区、江戸川、八王子市、町田市、西多摩、南多摩、多摩立川、多摩府中、多摩小平、島しょ保健所の173医療機関からインフルエンザA型、墨田区、江東区、大田区、杉並、池袋、北区、練馬区、足立、葛飾区、八王子市、町田市、南多摩、多摩立川、多摩小平保健所の23医療機関からインフルエンザB型、中野区、葛飾区、多摩府中保健所の3医療機関から臨床診断の報告がありました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年51週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	56	1		25	3				1		
6～11か月	72	7	1	176	7	2	1	39		1	
1歳	170	25	14	666	28	21	6	78		4	
2歳	74	32	29	344	26	27	13	10		2	1
3歳	24	17	57	262	34	19	15	2		1	4
4歳	16	24	84	284	35	9	24	1		1	11
5歳	9	17	117	268	33	10	39	1			7
6歳	2	8	89	219	29	4	40			2	15
7歳	1	13	113	174	18	4	35	1			8
8歳	4	3	81	164	11		23				6
9歳		2	75	130	11		23		1		5
10～14歳		5	132	328	19	2	16		2		4
15～19歳		2	4	53	1				1		
20～29歳		3	56	407	3	1	3		1		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	428	159	852	3,500	258	99	238	132	6	11	61
先週比	-44	19	107	219	-64	-15	8	11	5	2	-5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1	16								2
6～11か月	1	2	41							1	1
1歳	3	5	158		2						2
2歳	1	1	208		1						
3歳	1	1	215		1						2
4歳		1	340		1			1			1
5歳		1	444								1
6歳			545					2			
7歳		1	669								6
8歳		3	577								1
9歳		1	593								
10～14歳		2	2,438					1			4
15～19歳			404		1						1
20～29歳			385		3		1				
30～39歳			512		1						5
40～49歳			555		4						4
50～59歳			243		3						1
60～69歳			117			1					2
70～79歳			75		1						3
80歳以上			35								4
合計	6	19	8,570		18	1	1	4		1	40
先週比	-1	1	4,378	-1	-4	1				1	31

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年51週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			0.33	5.33	0.33		1.00	0.33			
中央区	1.67	0.67	3.67	13.33	0.67						
みなと	1.33	1.17	2.33	9.00		0.67	0.67	0.33			
新宿区	2.00		1.13	8.63	0.13	1.00		0.63		0.13	0.25
文京	0.50	0.25	2.75	7.75			1.75	1.00			
台東	1.50	1.50	2.50	19.75	1.50		0.25	0.75			0.25
墨田区	1.20	0.20	1.80	17.80	0.60		0.20	0.40			1.40
江東区	0.56	0.22	3.56	26.44	1.89	0.33	1.44	0.78		0.22	0.44
品川区	1.25		2.88	18.50	1.00	0.38	1.63	0.75			
目黒区	2.40	0.80	0.80	11.40	0.40	1.20		0.60		0.40	0.20
大田区	1.46	0.85	4.08	16.92	1.46	0.62	0.85	0.62	0.15	0.15	0.08
世田谷	1.56	1.56	2.50	14.56	0.75	0.44	0.31	0.69		0.13	0.06
渋谷区			1.25	10.25		0.50		0.25			
中野区	1.17	0.50	1.67	18.17	1.83	0.50	0.67	0.50			
杉並	1.36	1.09	1.00	8.91	1.00	0.45	0.36	0.45			
池袋	1.50	1.25	5.00	2.75	0.25						
北区	1.29		1.29	13.86	0.43	0.14	2.00	0.43			
荒川区	4.75		8.00	8.25			2.50	0.25	0.25		
板橋区		0.10	0.50	8.50	0.50	0.10	0.20	0.40			0.10
練馬区	0.77	0.23	2.54	10.92	1.08	0.15	2.00	0.54			0.31
足立	1.46	0.15	2.00	17.08	1.15		0.46	0.23			0.54
葛飾区	0.63		2.75	18.00	1.50	2.50	1.25	0.63		0.13	
江戸川	0.92	2.00	5.92	14.50	0.83	0.42	1.00	0.17			0.33
八王子市	3.18	0.45	6.91	21.91	1.55	0.18	1.09	0.55	0.27		0.36
町田市	1.00	0.38	7.50	17.88	1.13	0.13	2.25	0.38			0.13
西多摩	2.63	0.38	1.75	5.75	1.50			0.13			0.63
南多摩	3.78	0.11	4.33	10.11	0.89	0.11	1.22	0.67			0.22
多摩立川	1.21	0.50	3.64	11.00	1.14		1.14	0.36			0.64
多摩府中	1.62	0.57	3.43	11.43	1.19	0.81	0.52	0.62			0.24
多摩小平	4.27	1.27	5.27	10.33	1.13		1.60	0.80		0.07	0.13
島しょ					1.00						
東京都	1.63	0.60	3.24	13.31	0.98	0.38	0.90	0.50	0.02	0.04	0.23

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			14.75					0.50			0.50
中央区			13.00		3.00						
みなと			19.44								3.00
新宿区			13.83								3.00
文京			15.86		1.00						
台東			8.29								
墨田区		0.20	15.13								
江東区	0.11		25.79								
品川区			13.58								
目黒区	0.20	0.20	7.00								
大田区		0.08	20.55		0.50						
世田谷	0.06	0.06	23.08								2.50
渋谷区			11.14		2.00	1.00		1.00		1.00	4.00
中野区			15.40								
杉並			19.53								
池袋			14.29		2.00						4.00
北区		0.14	15.82								
荒川区			31.57								
板橋区			15.00								
練馬区		0.08	31.95		1.50						
足立			18.45		2.00						
葛飾区		0.13	19.08		1.00						5.00
江戸川	0.17		20.84								
八王子市		0.27	26.94								
町田市		0.25	30.69								
西多摩			23.29								1.00
南多摩			21.79		1.00						
多摩立川		0.36	28.29								
多摩府中	0.05		19.39				0.33				3.33
多摩小平		0.13	23.61					1.00			0.50
島しょ			2.00								
東京都	0.02	0.07	20.60		0.47	0.04	0.04	0.17		0.04	1.67

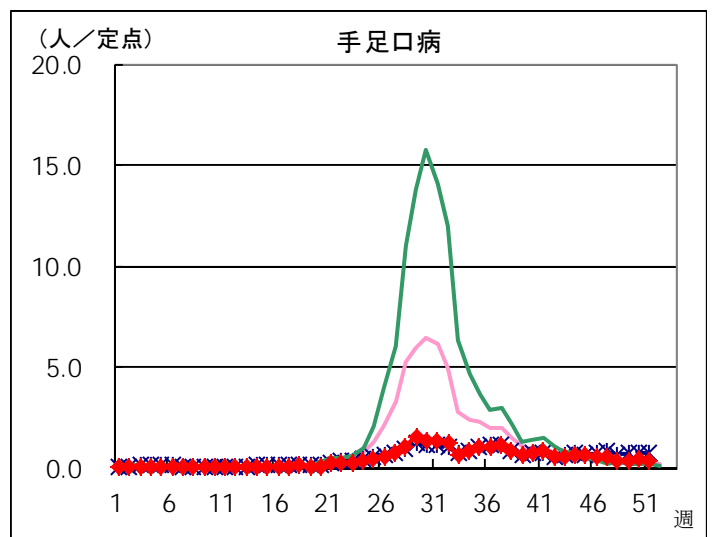
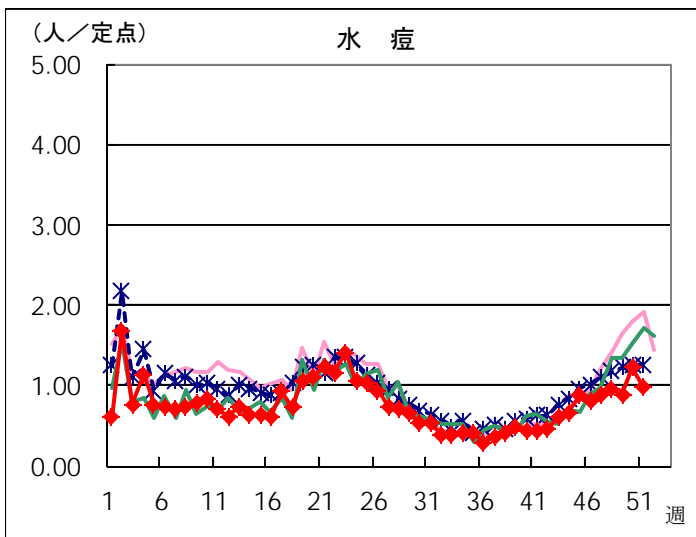
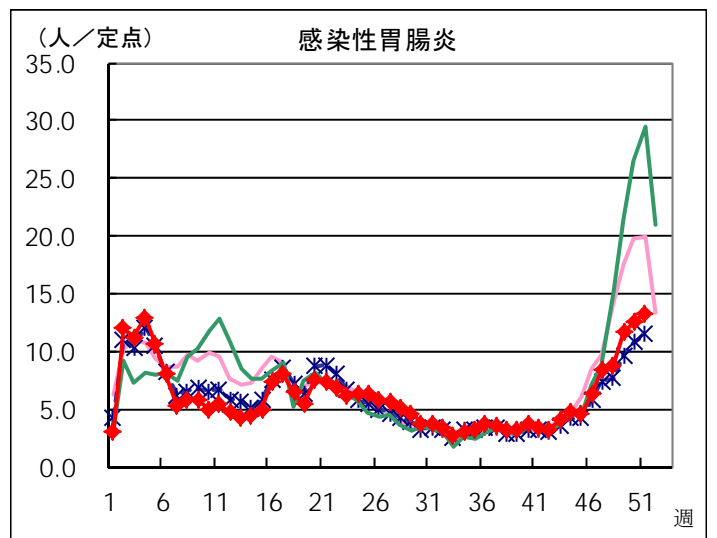
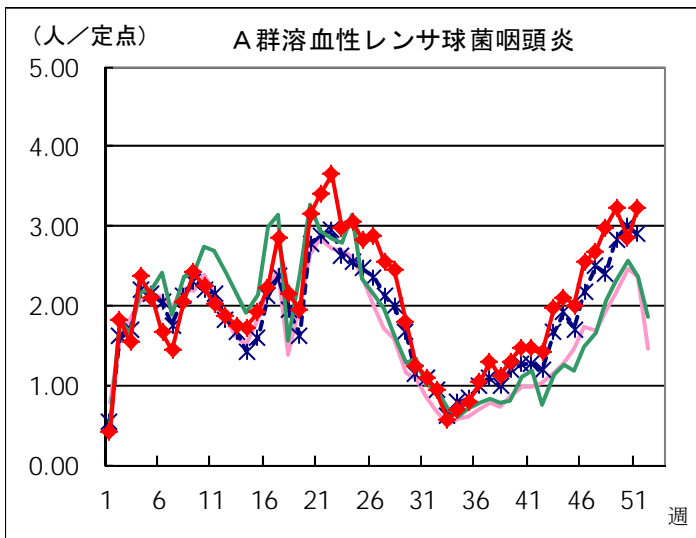
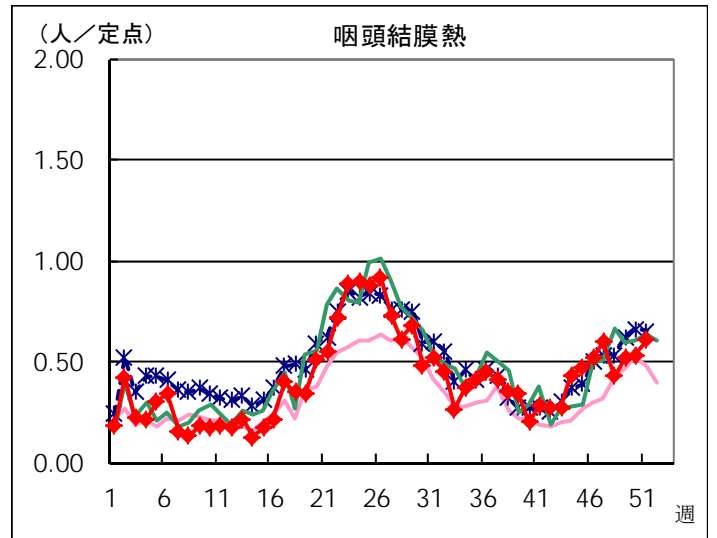
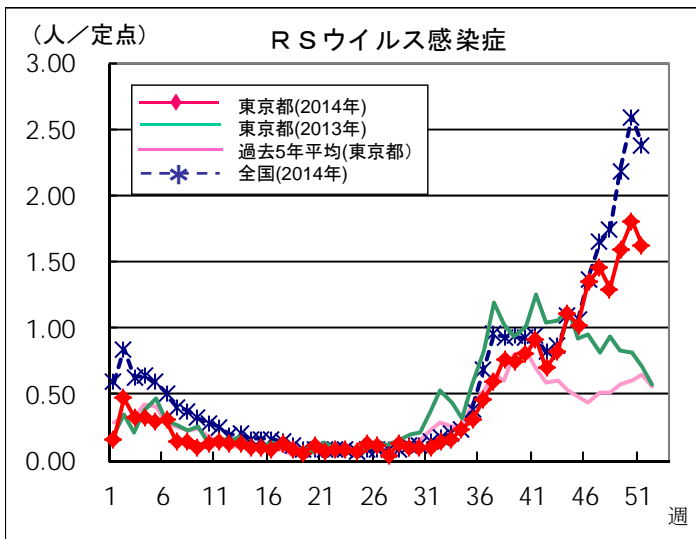
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年51週

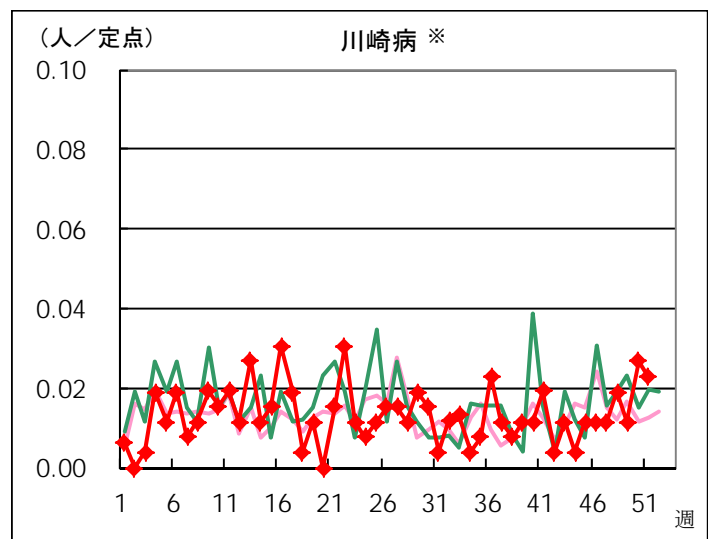
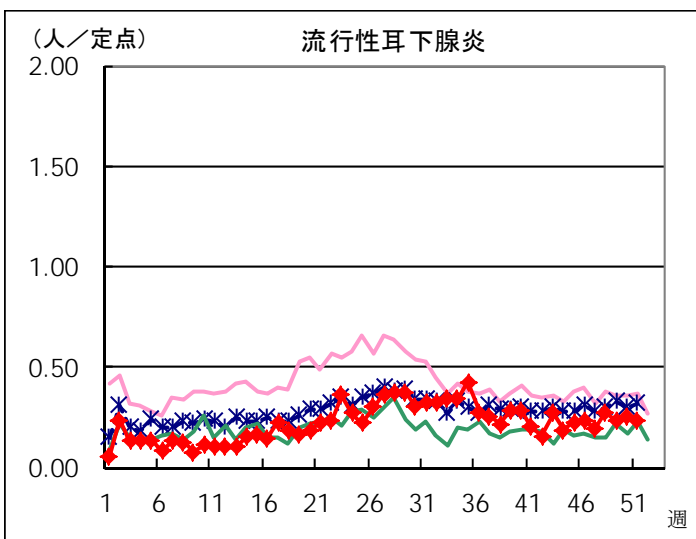
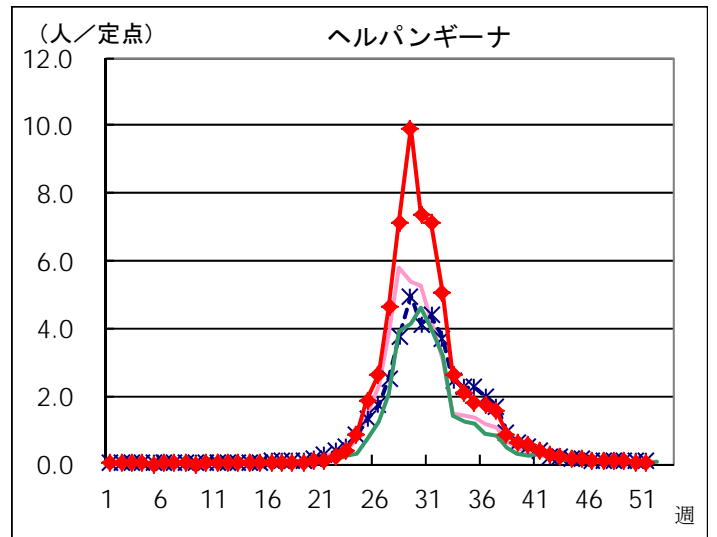
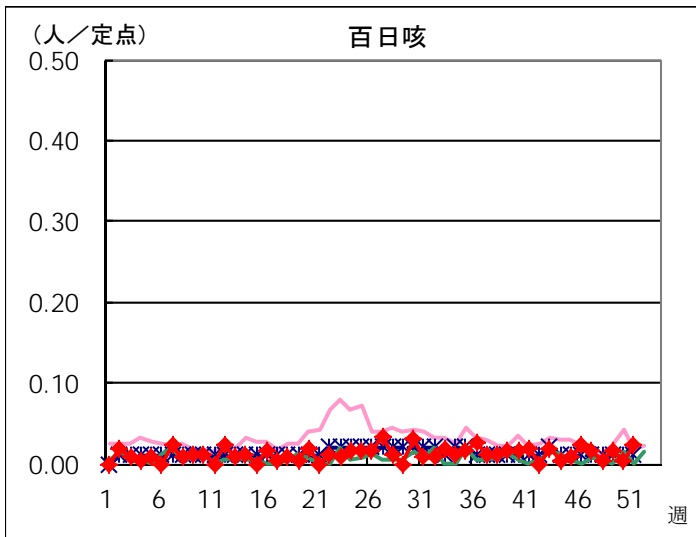
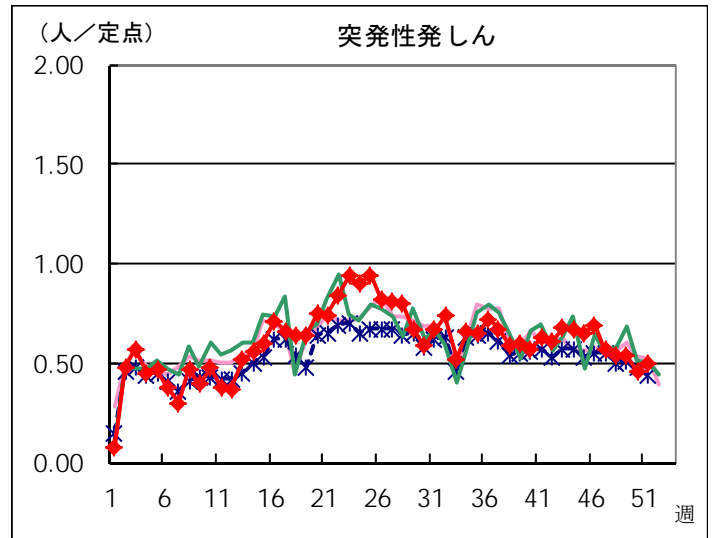
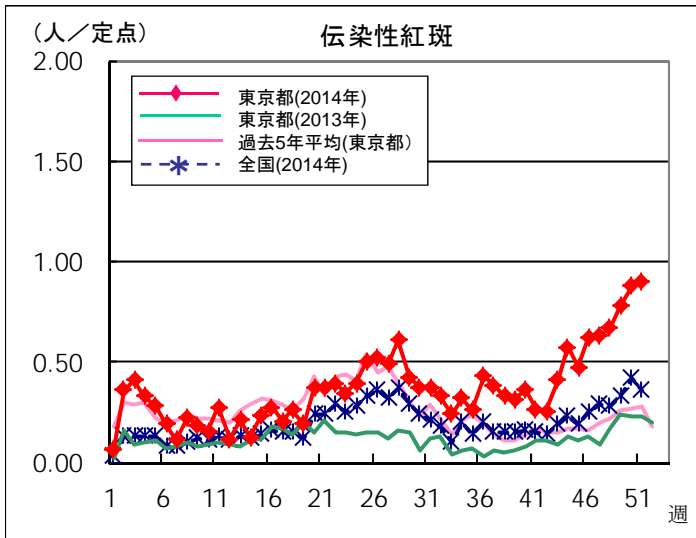
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田			1	16	1		3	1			
中央区	5	2	11	40	2						
みなと	8	7	14	54		4	4	2			
新宿区	16		9	69	1	8		5		1	2
文京	2	1	11	31			7	4			
台東	6	6	10	79	6		1	3			1
墨田区	6	1	9	89	3		1	2			7
江東区	5	2	32	238	17	3	13	7		2	4
品川区	10		23	148	8	3	13	6			
目黒区	12	4	4	57	2	6		3		2	1
大田区	19	11	53	220	19	8	11	8	2	2	1
世田谷	25	25	40	233	12	7	5	11		2	1
渋谷区			5	41		2		1			
中野区	7	3	10	109	11	3	4	3			
杉並	15	12	11	98	11	5	4	5			
池袋	6	5	20	11	1						
北区	9		9	97	3	1	14	3			
荒川区	19		32	33			10	1	1		
板橋区		1	5	85	5	1	2	4			1
練馬区	10	3	33	142	14	2	26	7			4
足立	19	2	26	222	15		6	3			7
葛飾区	5		22	144	12	20	10	5		1	
江戸川	11	24	71	174	10	5	12	2			4
八王子市	35	5	76	241	17	2	12	6	3		4
町田市	8	3	60	143	9	1	18	3			1
西多摩	21	3	14	46	12			1			5
南多摩	34	1	39	91	8	1	11	6			2
多摩立川	17	7	51	154	16		16	5			9
多摩府中	34	12	72	240	25	17	11	13			5
多摩小平	64	19	79	155	17		24	12		1	2
島しょ					1						
東京都合計	428	159	852	3,500	258	99	238	132	6	11	61

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			59					1			1
中央区			65		3						
みなと			175								3
新宿区			166								6
文京			111		1						
台東			58								
墨田区		1	121								
江東区	1		361								
品川区			163								
目黒区	1	1	56								
大田区		1	411		1						
世田谷	1	1	577								5
渋谷区			78		2	1		1		1	4
中野区			154								
杉並			332								
池袋			100		2						4
北区		1	174								
荒川区			221								
板橋区			240								
練馬区		1	639		3						
足立			369		4						
葛飾区		1	248		1						5
江戸川	2		396								
八王子市		3	485								
町田市		2	399								
西多摩			326								1
南多摩			305		1						
多摩立川		5	594								
多摩府中	1		640				1				10
多摩小平		2	543					2			1
島しょ			4								
東京都合計	6	19	8,570		18	1	1	4		1	40

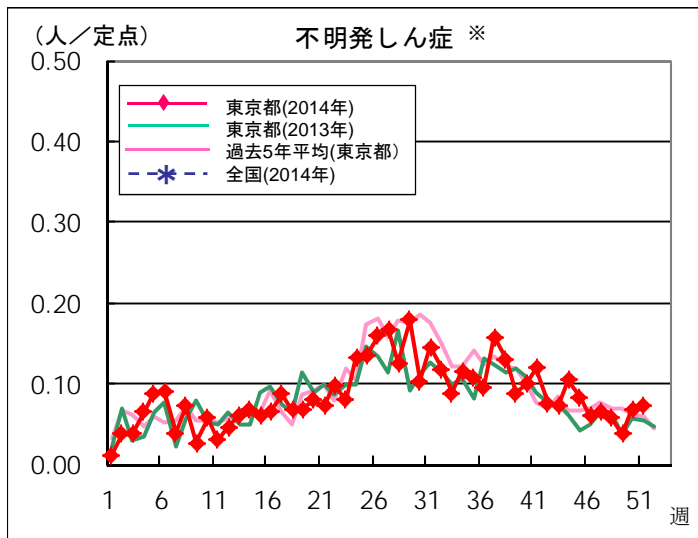
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年51週 現在)

◆ 小児科定点



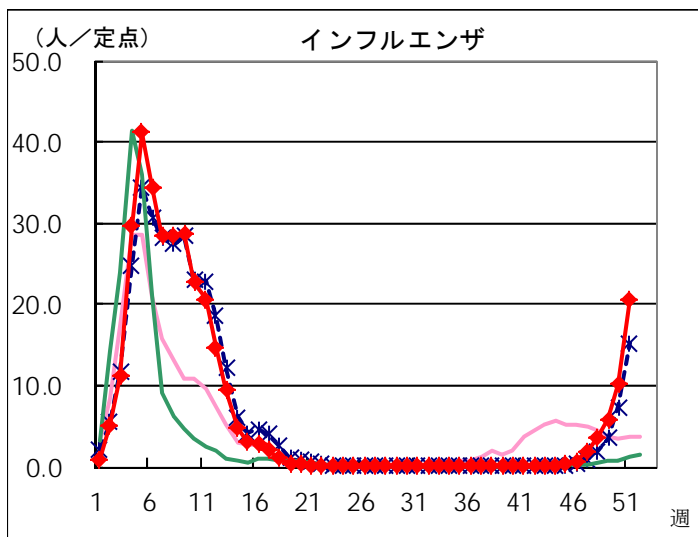


※ 東京都独自対象疾患

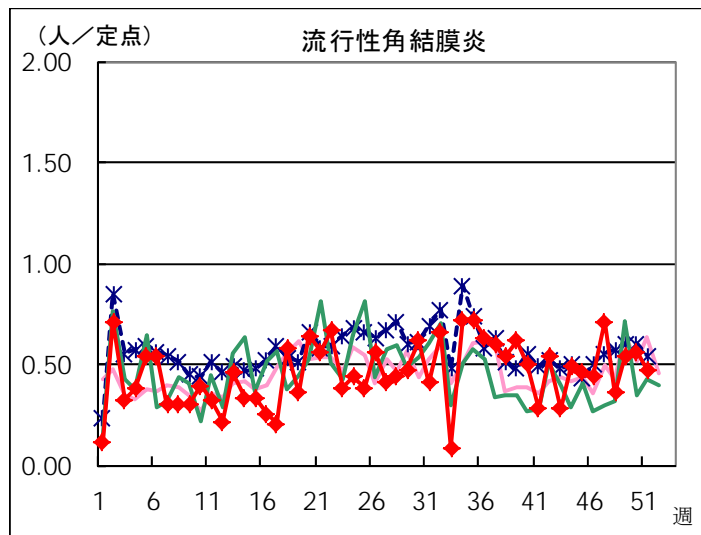
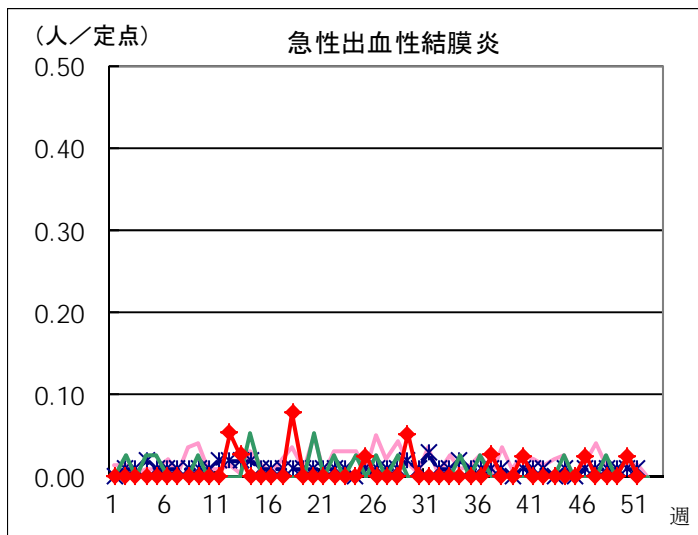


※ 東京都独自対象疾患

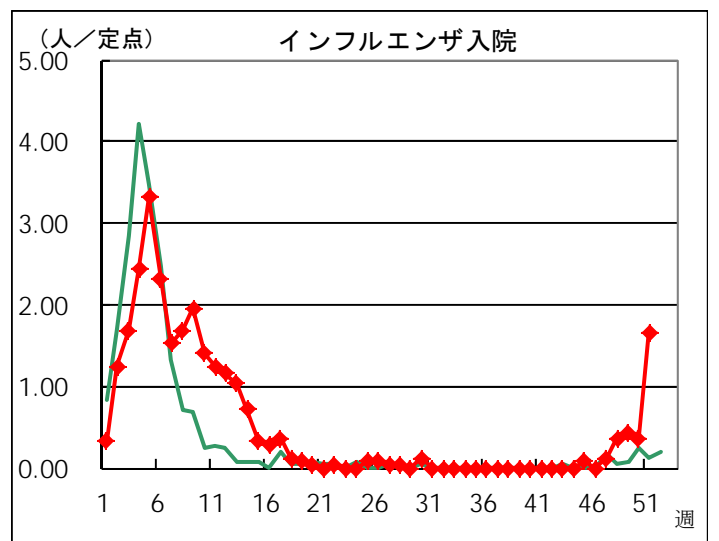
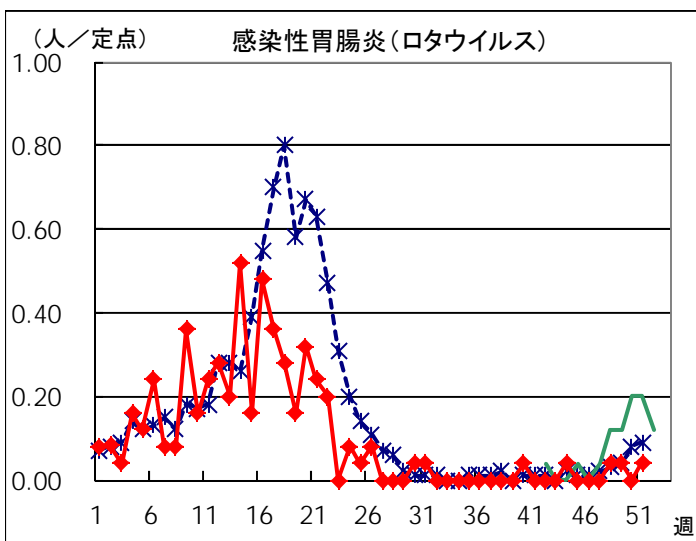
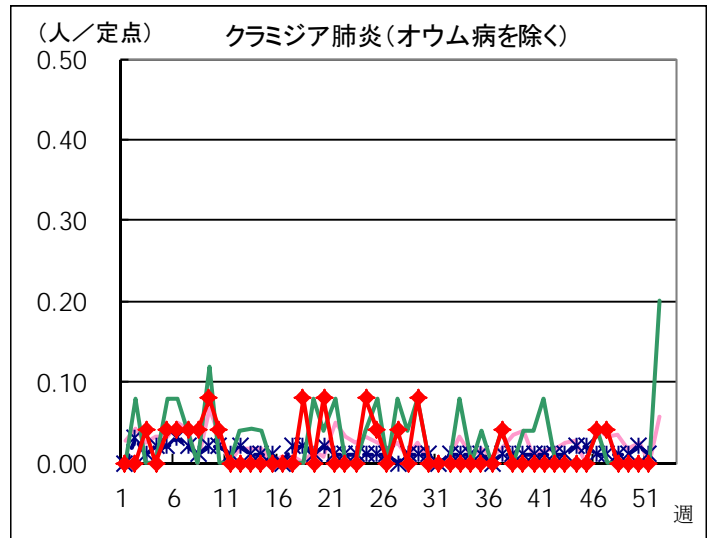
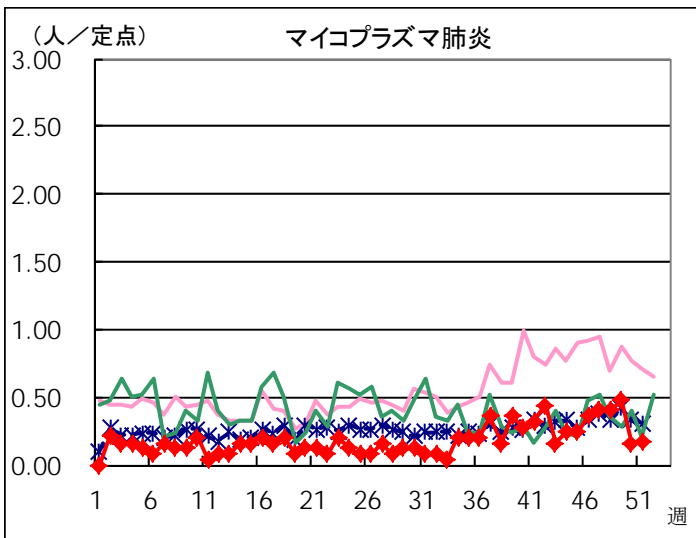
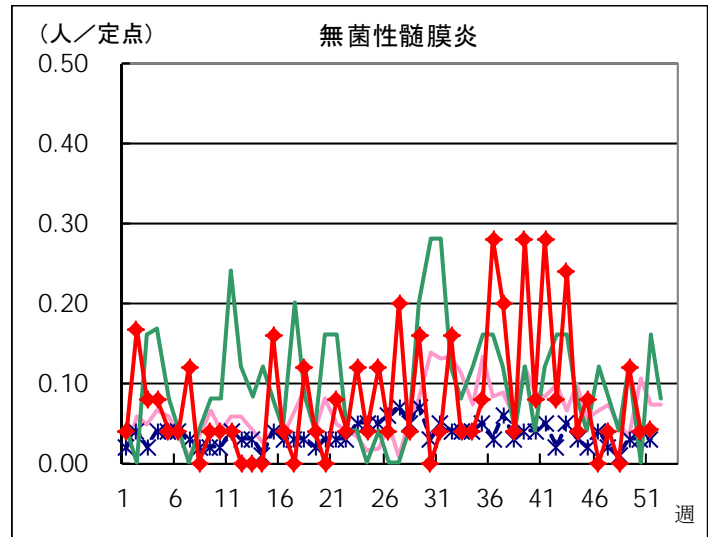
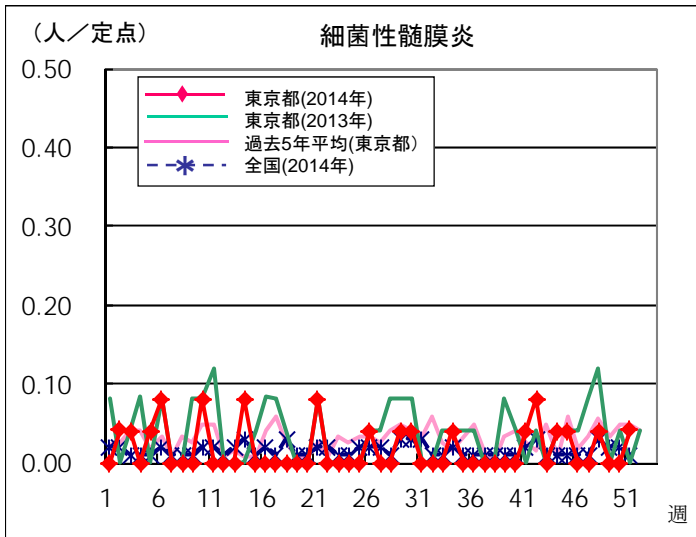
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
12/3	伝染性紅斑	5M	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス ヒトパルボウイルスB19
12/5	RSウイルス感染症	7M	鼻汁	RSウイルス
12/4	突発性発しん	7M	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
12/4	感染性胃腸炎	10M	直腸拭い液	アデノウイルス ノロウイルスG II
12/8	手足口病	11M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群16型
12/3	不明発しん症	11M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群9型
12/9	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
12/8	肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス
12/3	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	A群ロタウイルス
12/9	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルスG II
12/3	不明発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エコーウイルス 18型
12/3	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス
12/8	手足口病	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群16型 ヒトヘルペスウイルス 6型
12/8	水痘	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/8	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
12/8	水痘	3	咽頭拭い液	ライノウイルス 水痘帯状疱疹ウイルス
12/11	肺炎	4	鼻汁	ライノウイルス
12/2	感染性胃腸炎	4	糞便	ノロウイルスG II
12/5	感染性胃腸炎	4	直腸拭い液	ノロウイルスG II
12/5	感染性胃腸炎	6	直腸拭い液	サポウイルス
12/11	感染性胃腸炎	7	直腸拭い液	アデノウイルス
12/8	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトパルボウイルスB19
12/8	伝染性紅斑	8	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトパルボウイルスB19
12/9	不明発しん症	8	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトパルボウイルスB19

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09 ^{*1}	AH1亜型	AH3亜型	B型
50週			16	1
2014-2015年 シーズン累計 ^{*2}			53	1

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とする。

*2 2014-2015年シーズンの開始は第36週(2014年9月1日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2014年							
	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
アデノウイルス	4	5	8	7	4	7	3	7
ライノウイルス	2	9	4	6	3	5	5	7
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群		1	1	2	3	2	1	3
コクサッキーウイルスB群	3				1		1	
エコーウイルス	4	1		1	2			1
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	4	1	1		2	1		2
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス		1					1	1
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	4	7	3	2		1	1	3
EBウイルス	2	1	1	2	1	2	1	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	2			1	1			
麻疹ウイルス					1			
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19		2	1	4	1	2	4	4
RSウイルス	2		3	3		1	2	2
ノロウイルス			1			1		4
ロタウイルス								1
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	1	1		5	5	4	18	16
インフルエンザウイルスB型								1
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス(抗体を含む)								
その他のウイルス							1	1
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年43週～2014年50週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	73	21	37	18	28	13	10	1	7	15	35	7	4		1	28
アデノウイルス	1	6	8	2		9	3	1	1	1	9					4
ライノウイルス	3	1	10		2	2	1	1		5	10	1	3			2
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群		1	3			1			4	1	2					1
コクサッキーウイルスB群		1			4											
エコーウイルス		2	1		4	1					1					
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス	1	3	3			1					2	1				
単純ヘルペスウイルス																
水痘・带状疱疹しんウイルス									1				2			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		2							1	2	14					2
EBウイルス		2									1	2				5
サイトメガロウイルス																
ムンプスウイルス					1							3				
麻疹ウイルス											1					
風しんウイルス																
ヒトパルボウイルスB19										14	4					
RSウイルス		2	10													1
ノロウイルス				6												
ロタウイルス				1												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	50															
インフルエンザウイルスB型	1															
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス(抗体を含む)																
その他のウイルス				2												
その他の病原体																

<感染症豆知識>

H I V感染症 最近の動向

HIV 感染症は、結核、マラリアとならぶ、世界三大感染症のひとつである。世界の感染者数は 3430 万人で、今も 1 年間に 230 万人の新規感染者が報告されている。(2012 年末現在:UNAIDS 報告)。

エイズの原因となるヒト免疫不全ウイルス(HIV)が同定されたのは 1983 年のことであった。それからわずか 30 年で、HIV 感染症の治療は劇的な変化を遂げることとなる。そして、かつては致死的な疾患であった HIV 感染症も、1996 年からはじまった抗 HIV 薬による多剤療法により、コントロール可能な慢性疾患と考えられるようになっていく。

しかし、心血管疾患、慢性腎臓病、認知障害、悪性腫瘍などの、長期合併症の増加が新たな問題となり、これまで以上に他科との連携が必要となってきている。また、予後改善による高齢化もすすんできており、それをささえる地域医療の整備も急務となっている。

治療が進歩している一方で、我が国における診断の遅れは、今も深刻な状況が続いている。平成 25 年の新規 HIV 感染者 1590 人のうちエイズ患者が 484 人と、新規報告の約 3 割がエイズ発症をきっかけに診断されている。今でも、重篤な日和見感染症を発症してしまえば、死亡することや後遺症を残すこともある。治療が進歩したからこそ、より早期に診断することが求められている。

これまでの HIV 診療は、エイズ拠点病院を中心に行われてきた。しかし、治療の進歩により、必要とされる医療も大きく変わろうとしている。今後は、このような変化に柔軟に対応できるよう、地域の一般医療においても、HIV 感染者の診療が少しずつ広がっていくことを期待したい。

(文責 都立駒込病院感染症科部長 今村顕史)